

穂の国の森から始まる家づくりの会 メイン活動でもある

「教室の空気はビタミン材運動」 & 「循環する教室の空気はビタミン材運動」

平成27年度 あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の助成をいただき、今年も活動が始まりました。

豊川・豊橋・蒲郡と活動を行ってきましたが、

新城市内での初めての教室の空気はビタミン材運動です。

奥三河の山並が学校からも見えます。近くの山のふもとの街の学校です。

子どもたちの慣れない作業に悪戦苦闘していました。

6年生のこどもたちは暑い中、後輩のために掲示板に杉の間伐材を貼りました。

木のいい匂いがする、絶対みんな驚くと思う。と一生懸命に活動していました。

今回は8月21日金曜日に豊川市立代田小学校で行いますので是非ご参加下さい。



東愛知新聞 7月25日掲載

新城市の新城小学校6年生児童が、教室の黒板横に間伐材を貼り合わせる、新しい掲示板を作った。

間伐材で新掲示板作り 新城小6年生児童らが作業

東三河の工務店や大工らでつくる穂の国の森から始まる家づくりの会（伊藤正幸代表が子どもたちに森林や山について考えてもらおうと、15年前からこの活動をしている。児童らは班ごとに分かれ、学校内の24教室に掲示板を作った。

間伐材を打ち付け、掲示板を作る児童ら＝新城市の新城小学校で

た。金つちを使い、細長くカットされたスギの間伐材を1枚ずつ釘で打ち付け、真新しい掲示板を完成させた。

祖父が太士という山浦眞直君は、なかなか釘が入らず苦労したが、金つちで打つ作業が楽しかった。木の香りがとてもよいと笑顔だった。

同会による授業も開かれ、伊藤代表が森林の写真や木枝などを児童に見せながら、森林や山の働き、木材の効果などを説明した。

（川口直康）